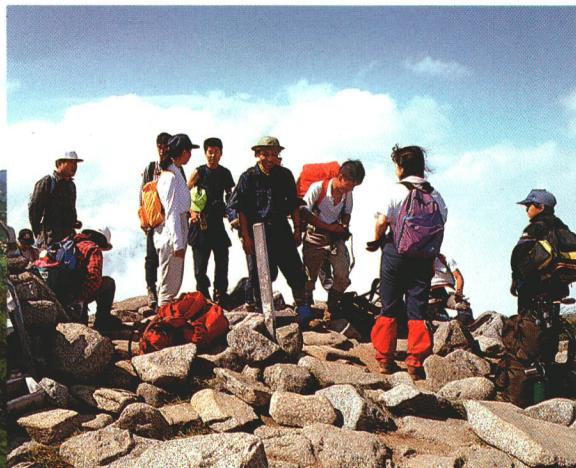


# 飯曲豆自然讃頌歌

【自然】



○雄大な自然を誇る飯豊連峰



○いいでの集い（毎年7月下旬）

## 東北のアルプス 2,000m級の峰々が連なる

万年雪を頂く靈峰飯豊は、大日岳を最高峰に飯豊山、御西岳など2000m級の峰々が連なり、「東北のアルプス」とも称され、多くの人々に愛されています。

原始的な自然が今なお残るこの山には、イイデリンドウやシラネアオイ、イワウメなど様々な高山植物が咲き乱れ、オコジョやカモシカ、蝶のベニヒカゲ、野鳥などが生息しています。

飯豊山は652年、役の小角と唐僧知道和尚が霊夢を得て開いた山と言われています。五社権現を創建し、山麓には薬師寺をおきました。

のちの1590年、真言宗蓮華寺の僧宥明が登拝路を開くことを蒲生氏郷に懇願し、五年の歳月をかけて完成しました。その後、氏郷の子秀行が社殿を修築し、祈願所に定めました。それ以来、飯豊山は修験者の修業の場として、更には、地元住民の信仰の山として尊ばれました。

戦前までは女人禁制で、会津の男子は13・14歳になると白装束に杖を持ち「六根清浄、お山は晴天・・・」と唱えながら登らなければならなかったと言われています。その風習を受け継いで、中学生になると飯豊登山をする行事がほうぼうで見受けられます。

昭和30年から「いいでの集い」が毎年7月下旬に開催され、すでに41回を迎えました。その崇高さと雄大さに引かれ、今では遠くから多くの人々がやって来て山頂をめざします。

○飯豊のシンボル、イイデリンドウ



○オンバ様（姥権現）

